

看護学生の 広場

Plaza of nursing student

DAN'S

DEAR ACTIVE NURSING STUDENTS

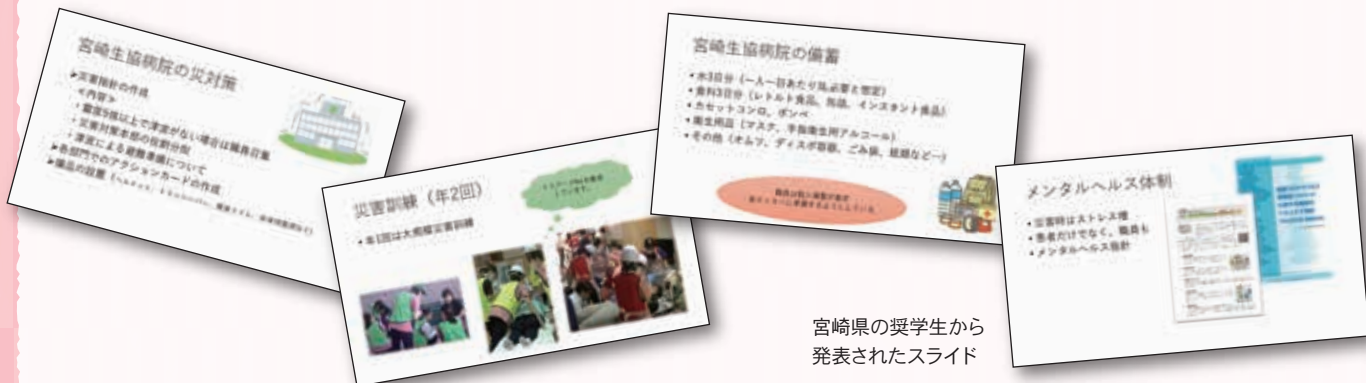
看護学生のつとめ

今回は奨学生活動の一つである、DANSの紹介をします。DANSとは全日本民医連看護学生ゼミナール（Dear Active Nursing Students）の略であり、年に一回、九州沖縄の民医連病院の奨学生が集い、一緒に交流し、学習するというものです。例年、開催地へと行き、フィールドワークをしたり、講演会を聞いたりするのですが、コロナ感染症の影響で、今年は初のWeb開催となりました。

今年のテーマは「防災」。宮崎の奨学生も事前に各看護学校の防災対策を調べて発表しました。長崎県からは40年ほど前に起きた大水害について調べ、フィールドワークをして学んだことを発表されました。自分たちで実際に現地を見て、災害の経験者から話を聞いて、刺激になったようで、みんなと感想を共有できました。熊本からは、熊本地震の経験から学んだことをまとめて発表され、今後、地震が起きた時の備えとして非常に参考になるものでした。各県の奨学生が自分たちで調べて発表することで、防災についての知識も深まるし、他の県で同じ奨学生が頑張っている姿を見ることができ、自分たちの励みにもなります。各県に仲間がいることを実感できるものとなりました。

講演会では、鹿児島生協病院の救急科の医師が「災害概論 備えよう！未来の災害」というテーマで話をしてくれました。災害は発生すると多くの人に悪影響を与えるのは言うまでもありません。大きな災害が起きた時に、人の人権が守られるように支援することが必要だと考えられており、食糧確保や避難所、保健、通信、早期復旧などの最低11の領域が必要です。これは医療者だけでは達成できず、「多職種」連携が必要であると学びました。また、大規模災害への対応「CSCATTT」についても話があり、聞いたことがなかった学生が多く、自分で防災の準備をしようとか、災害があったら傍観せず参加しようという感想が聞かれました。気になる方は「CSCATTT」で調べてみてくださいね。

Web上でグループ毎に分かれて奨学生同士でディスカッションをする時間もありました。それぞれの県での災害や防災の状況を共有でき、交流する場にもなりました。宮崎の奨学生が調べた内容も他県の奨学生へと共有でき、充実した交流となりました。



宮崎県の奨学生から発表されたスライド

高校生の 広場

Plaza of high school students

しゃべり場！

高校生しゃべり場

宮崎生協病院では毎年医療従事者をを目指す高校生を応援する企画を様々開催しております。しかしコロナ禍で病院の中で体験企画を開催することは非常に難しい状況でした。その中で低学年の学生に医療現場を伝える企画が出来ないか？と考えオンラインで医療従事者（医師・看護師・薬剤師・理学療法士・検査技師・放射線技師）と話が出来る『しゃべり場』を開催しました。しゃべり場では事前に高校生からいただいた質問に答えたり、その職種になるための方法、仕事の様子、コロナ禍で病院がどのように変わったのかをお話しています。

参加した学生からは、「実際にその職種の働く様子が分かった。」「オンラインだが近い距離で話せて話しやすかった。」との言葉を頂きました。

2022年の秋ごろも開催予定です。もし医療従事者に興味があるけど進路で悩んでいるという学生さんは是非お申込みください。

※夏頃に学校へ案内予定です。



2022年間スケジュール

5月～8月

高校生
医療者体験
(3年生対象)

医療現場で働く医師の話を聞いたり、事例検討をします。医師や看護師など専門職に質問する時間もたっぷりあります。いろいろ質問しよう！

7月

地域医療講演会
(全学年対象)

宮崎民医連で働く現役医師が医師になるまでの話や医師になってからの話、医師の仕事について、地域医療についての話をします。講演会のほかに、研修医に質問のコーナーもあります。

10月

模擬面接
(3年生対象)

医師・看護師を目指す受験生を対象に集団面接の練習を行っています。他校の学生さんと一緒に本番さながらの面接練習をしませんか？